

延岡

稲田川の悪臭改善へ

無鹿1区 住民、浄化微生物作る

延岡市無鹿町の無鹿1区(川口武志区長、約2500世帯)の住民たちが17日、地元稲田川の水質改善を図ろうと、環境浄化微生物「えひめA1-2(あいに)」を作った。住民にとって、各家庭の生活排水が流れ込む稲田川の悪臭が積年の悩みだった。こ

の問題を解決するとともに、身の回りの生活環境を守る大切さを地域全体に浸透させる。

「えひめA1-2」は酵母菌、乳酸菌、納豆菌を主体に発酵培養させた酵素を含む複合微生物で、愛媛県工業技術センターが開発した。汚濁水の浄化作用を促進させる働きがあり、ヨーグルトや納豆、ドライイーストなど家庭

にある材料で作ることができるとある。

同日は約40人が無鹿公民館に集まり、約210分を作業した。今後は、一定の温度で1週間ほど寝かせた後、各家庭に配り、定期的に台所の流しやトイレから投入するなどして利用してもらおうという。

川口区長は「生活環境の改善のために、住民にできる



ペットボトルに入れた「えひめA1-2」を手にする無鹿1区の住民

ことはしたい」と話していた。

また、この日は東海地区区長連絡協議会が環境保護の大切さを訴える漫画「地球の秘密」を地区内の7小中学校に寄贈した。漫画は1991年、鳥根真の坪田愛華さんが小学6年生の時に描いた作品。愛華さんは漫画を仕上げても間もなく病気で亡くなった。愛華さんの名前は「えひめA1-2」の由来になっている。

延岡市	延岡市
延岡市	延岡市

（おまけ）				
延岡市	延岡市	延岡市	延岡市	延岡市
延岡市	延岡市	延岡市	延岡市	延岡市